

IPNU

キャンパスネット



地域で地域とともに学ぶ

平成 24 年度も学生は、いろんな地域をフィールドとして積極的にさまざまな活動を展開しました。学生達は学生らしい純粋な気持ちと真摯な態度で一生懸命活動に取り組んでいます。地域の人々に触れて、学び、一緒に楽しむことで、学生にしかできない新たな活動の輪が広がることを期待しています。これからも皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



2012年9月23日(日)
猿鬼歩こう走ろう健康大会
(来入喜人里創り創成プロジェクト)



2012年12月・2013年3月
被災地ボランティア活動(学生有志)



2012年11月11日(日)
「いしかわ食のてんこもりフェスタ」への出店
(いきいき交流サークル)



2012年12月9日(日)「第2回かほくまいもん市」
(垣花ゼミ:「コミュニティ形成を通じた道の駅活性化」)



2013年2月9日(土)
大学・地域連携
アクティブフォーラム
最優秀賞(垣花ゼミ)

目次

学生活動特集	1	ワシントン大学招聘教員特別講義	4	この1年を振り返って	
大学の主な動き		専門看護師(CNS)合格	4	基礎看護実習Ⅰ	7
卒業式・学位授与式	2	トピックス		基礎看護実習Ⅱ	7
卒業生の言葉(学部)	2	消防訓練	5	第Ⅳ段階実習	7
修了生の言葉(大学院)	2	卒業研究発表会・修士論文発表会	5	卒業研究	7
大学公開フォーラム	3	図書館より	5	大学院	7
ワシントン大学との覚書締結	3	キャンパスライフ		国家試験結果	8
JICA 青年研修事業	3	夏期アメリカ看護研修	6	卒業生の内定状況	8
		第13回看大祭の開催とお礼	6	平成25年度キャンパススケジュール	8

大学の主な動き

卒業式・学位授与式

去る2013年3月16日(土)、平成24年度卒業式・学位授与式が挙行されました。谷本知事をはじめ各界のご来賓のご臨席を賜り、看護学部第10期卒業生93名、看護学研究科博士前期課程第8期修了生13名、計106名が本学を巣立ちました。

石垣学長は式辞で、一人ひとりが自分と他者を見つめながら、その人らしい人生を歩んで下さいという励ましの言葉とともに、本学での学びを基盤として地域社会に貢献し、国際的な視野をもった看護職者として成長して欲しいという期待の言葉でもって、卒業生・修了生の前途を祝されました。在校生を代表して南克典さんが卒業生・修了生への感謝の気持ちと先輩に続く決意を、卒業生総代の荒邦有紀さんが本学で学んだことの喜びと感謝とともに、看護職として社会に貢献していく決意を、また大学院修了生を代表して寺井梨恵子さんが本学での高度な学びに基づいて看護の発展に貢献する人材となるよう努力していく決意を述べました。

本年度の学長表彰は、在学中に学業、地域貢献活動、ボランティア活動、卒業研究等で模範となる活動を行った坂東優佳さん、高山清敏さん、戸部雅代さん、西川花奈さん、橋上まさよさん、林宏和さん、増田郁美さん、桶川貴子さんの8名に贈られました。

晴れやかに卒業証書を受け取る姿やかにこやかに挨拶する姿に、一人ひとりの成長を感じるとともに、その将来に大きな期待を覚える卒業式でした。

学生部長 浅見 洋



大学院 学位授与式



学部 卒業式

卒業生の言葉 (学部)



私は長い間切望していた大学で看護を学ぶ機会を得る事が出来ました。大学での2年間はまるでご褒美をもらっていた様な楽しい時間でした。入学前は若い学生について行けるのだろうかと不安でしたし、子育てや家事と学業の両立は確かに大変な時もありましたが、ダイニングテーブルを学習机にして、家族やママ友の協力も得てなんとか乗り切る事が出来ました。大学の講義はとても興味深く目から鱗の連続でした。看護大学で学ぶ事を決めて本当に良かったと思える程面白い授業でした。講義や実習で時折考えていたのは以前看護師として仕事をしていた時の体験でした。「家に帰りたい」と願うがんの末期の患者さんをせめて外泊させてあげようと病棟のチームで取り組んで実現した時の事や自分の力不足で支えてあげられなかった後悔の気持ちなど、多くの事を思い出しました。自分の今までやって来た看護をもう一度振り返る良い機会になったと思っています。これからも学び続ける姿勢を持って今度は臨床で挑戦して行きたいと思っています。

4年(3年次編入学生) 桶川 貴子

修了生の言葉 (大学院)



私は看護師として、たくさんのがん患者さんと関わってきました。がん患者さんを取り巻く環境は、治療法の進歩によりめまぐるしく変化し、がんを体験しながら長期に生存する患者さんが増えてきています。そのような患者さんを看護していく上で、より専門的な知識を学びたいと考え大学院に進学しました。入学年度に働きながら学ぶ学生のために長期履修制度が認められ、病院で勤務しながら3年間での卒業を目標にできました。勤務をしながら課題をクリアしていくことは想像以上に大変でしたが、大学院での専門領域の学びは、看護の原点であるケアリングを再認識でき、実践に活かせる内容で充実感を感じていました。卒業後はがん看護専門看護師となり、より質の高いがん看護を実践できるように一層努力していきたいと思っています。この3年間、お世話になった先生方をはじめ応援していただいた職場スタッフ、いつもそばで見守ってくれた家族、多くの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

大学院博士前期課程 成人看護学分野
がん看護専門看護師コース 山瀬 勝巳

大学の主な動き

大学公開フォーラム

2012年12月1日（土）、本学にて大学公開フォーラム「みんなで支える健康なまち」を開催し、みぞれ混じりのあいにくの天気の中、約400人の県民の皆様にお越しいただきました。

レシピ本「体脂肪計タニタの社員食堂」で人気の株式会社タニタの堀越理恵子先生（管理栄養士）による講演「タニタ式健康づくり」では、カロリーや塩分を控えながら美味しい食事を楽しむ方法を具体的に教えていただき、パネルディスカッションでは、行政・商工会・NPO法人の方々に混じり、本学学生もこれまで健康なまちづくりのために取り組んできた活動について発表しました。

また、学生が株式会社タニタから助言を得て創作した健康弁当を披露し、参加された皆様にお持ち帰りいただきました。

石川県立看護大学では、これからも地域のみなさまの健康づくりに役立つ事業を進めていきたいと考えています。今後ともあたたかいご支援のほど、よろしくお願いたします。



美容・美肌弁当



血液サラサラ健康弁当



ワシントン大学と覚書を締結しました

2012年10月16日（火）、本学の石垣和子学長が米国シアトルのワシントン大学を訪問し、ワシントン大学看護学部パメラ・ミッチェル学部長とともに新しく合意された覚書（MOU：Memorandum of Understanding）に調印しました。これは、2003年3月に締結された両大学間の学術協定（Agreement for Academic Cooperation and Exchange）のもとに続けられてきた友好関係を、新たに更新するものです。



JICA 青年研修事業（ベトナム母子保健実施管理コース）

2012年10月25日（木）～11月6日（火）、ベトナムで母子保健に携わっている助産師や看護師に加え、医師や政府機関の関係者も含む13名が本学で研修を受けました。講義では、それぞれの視点からの質問や意見が活発に交わされました。この研修期間中に開催された大学祭では、茶道を体験したり模擬店を訪れたり、日本文化や日本の大学生活についても触れる機会がありました。



大学の主な動き

ワシントン大学招聘教員特別講義

2012年8月27日（月）～9月6日（木）の9日間、ワシントン大学看護学部から地域精神看護学の上月頼子准教授をお招きし、教育や学術研究のテーマで様々な交流を行いました。

大学院生への「国際看護特論」の講義、および学生の個別指導も熱心に行っていただきました。8月31日（金）には一般公開講座「米国の医療制度における Community Mental Health」を開催し、参加者は学内外の教員や保健師、看護師、医師等々で100人を超え、大変好評でした。最終日9月6日（木）には学内教員向けに「U.S. Health Care Systems and Advanced Practice Nursing」をテーマに特別講演をしていただき、活発な意見交換が行われました。

上月先生の豊富なご経験と知識だけでなく、気さくで、おおらかなお人柄に惹きつけられた人も多く、短期間ではありましたが、意義ある楽しい交流の日々を過ごすことができました。



公開講座



学生の個別指導

専門看護師（CNS）合格おめでとう！

2012年12月12日（水）に平成24年度第13回専門看護師認定審査合格者が発表され、合格者のうち4名が、本学CNS課程修了者でした。また、小児看護専門看護師の合格者は、本学修了者で初めての合格者です。

今回の合格者	本学修了者のCNS (2013年3月現在)
がん看護専門看護師：1名	がん看護専門看護師：5名
老人看護専門看護師：2名	老人看護専門看護師：5名
小児看護専門看護師：1名	小児看護専門看護師：1名

学内の情報機器更新について

9月から順次、学内のパソコンやプリンターを新しいものに更新しています。パソコンはOSがWindows7になり、情報処理演習室と語学演習室はデスクトップの大きなモニター画面になりました。



トピックス

消防訓練

2012年12月4日(火)、かほく市消防本部高松分署職員立ち会いの下、教職員と学生合わせて約200名参加による消防訓練を実施しました。今回は初めて学生も参加し、避難経路の防火扉を閉めてみるなど、少し予想外の仕掛けも作ってみました。自衛消防組織の班員である教職員が、「火災通報」、「初期消火」、「避難誘導」、「救護」の訓練を行い、自分の役割を確認することができました。消防署職員の方の講評では、もっと緊張感を持って取り組むようにとのご意見をいただき、教職員を含め反省点となりました。

避難訓練終了後には、消火器の取扱訓練を実施し、消火器の使用が初めての参加者には非常に有意義な訓練となりました。

衛生委員会



卒業研究発表会・修士論文発表会

2012年12月25日(火)に学部の卒業研究発表会、2013年2月14日(木)に大学院の修士論文発表会が行われ、研究の成果について活発な議論が行われました。



図書館より

図書館の利用実態や運営について検討するため、2012年11月2日(金)～30日(金)の間「附属図書館に関するアンケート調査」を実施しました。

その結果について図書館運営委員会で協議した結果、土曜日の開館時間を従来の午後1時～午後5時を、午前10時～午後6時まで延長開館することとし、図書の貸出冊数についても、5冊を10冊に変更することが決まりました。

現在、学習・研究活動の支援機能充実を目的に、新しく導入する図書館システムと、今回の業務改善によって、図書館の利便性がさらに向上すると考えています。いずれも4月から本格的に運用を始めますのでご期待ください。

(※調査結果の詳細はHPに掲載しましたのでご覧ください。)

図書館長 丸岡 直子

大学のホームページが
リニューアルして使いやすくなっています！
チェックしてくださいね☆(AO) /
<http://www.ishikawa-nu.ac.jp/>



キャンパスライフ

夏期アメリカ看護研修に参加して

私にとってこの夏期アメリカ研修は再び味わえないような貴重な経験であり、一生の思い出になりました。まず、快く旅費等の面で手助けしてくれた両親に感謝したいと思います。

私はこの2週間を通して多くの学びを得ることができました。日本語が通じない異文化の生活にはじめは戸惑い苦戦しましたが、積極的なコミュニケーションが相手とのよりよい関係の構築のためにも重要であることを学びました。たどたどしい英語ではありますが、多くの人と交流できたと思います。また、医療施設の見学や制度の学習を通し、先端医療や専門施設等で感動を受けた面もあった一方、



保険制度等で日本の優れている面も見えました。友人たちや先生方、温かいホストファミリーと過ごせた2週間は本当に楽しく、今回の思い出・学びを今後も大切にしたいと思います。

2年 赤島 薫

第13回看大祭の開催とお礼

2012年10月27日(土)・28日(日)の看大祭には、両日たくさんの方々を足運んでいただき、来客者、学生ともに楽しめるとてもいい大学祭になったのではないかと考えております。看大祭を無事終えることができたのも、地域の皆様をはじめ、たくさんの方々のご協力があったこそだと思います。心より感謝申し上げます。

皆で一つのものを作り上げることの喜び、互いに折り合いをつけていくことの難しさなど、大学祭を通して学んだことは多く、自分の成長につなげることができたことと実行委員一同感じております。この経験を、看護職を目指すさらなる糧にしていきたい所存です。さらに、私たち実行委員と他大学の学生、地域の方々など数々のご縁をいただき、このご縁をこれからも大切に、次の世代に引き継いでいきたいと思っております。

本当にありがとうございました。

第13回石川県立看護大学 大学祭実行委員長 荒木 美保



この1年を振り返って

基礎看護実習 I



私は4日間を通して、看護学生らしい態度について考える機会をいただきました。
 実習初日、私は自分のペースで話せばかりで患者さんの体調の変化に気づけませんでした。そこで、コミュニケーションについて再度学習し、自身の態度を見つめ直しました。焦らずに表情や沈黙、目線などを意識して接すると患者さんは自ら様々なことを話してくださるようになりました。また、私自身も患者さんの体調や周囲の環境に配慮する余裕を持つことができました。
 コミュニケーションをとることは対象を理解するために不可欠なものだと考えます。今回の実習で個性を活かしたケアを見学させていただき、対象の理解をケアに生かすためには知識が必要だと強く感じました。実習での貴重な経験を胸に刻み、今後の学習に励んでいきたいと思います。

1年 中谷 朱里

基礎看護学実習 II



私は初めての病院実習において、様々な自分の課題や目標を発見することができ、有意義な実習になりました。実習では整形外科に入院している患者さんを受け持たせていただき、日に日にADL(日常生活動作)が向上していく患者さんに対して私には何ができるのか毎日試行錯誤の日々でした。そのような中で、患者さんからの訴えに対して今何を優先して考えなければならないのかという優先順位をつけることにより、患者さんに合った最善の看護ができるということを学びました。
 今後の実習では患者さんが入院した目的を把握し、それに伴って正確な観察を行い、今何を重要視しなければならないのかという意識を持ち続け、看護に活かすことができるように学習を行っていきたいと思います。

2年 千田 茉莉乃

第IV段階実習



「自分にできることは何か」という思いで入学しましたが、はっきりとした答えは出ないまま第IV段階実習を迎えました。実習では、意思の疎通が取れない方や突然生じた障害により自立した生活が困難になった方など、様々な疾患をもつ方を受け持たせていただきました。このような出会いを通してコミュニケーションは言葉だけではないということ、また相手を理解しようとする姿勢が大切であるということ学ぶことができました。患者さんにとって何が必要で自分に何ができるかを考え実習に臨んでいましたが、本当にこれで良かったのかと立ち止まる場面も多々ありました。しかし、誠実な態度で個々の患者さんと向き合い、考えていくことが、看護を行う上で最も基本的な心構えではないかと感じました。そして「自分にできること」は患者さんとの関わりを一つ一つ丁寧に継続して行っていくことだと気づくことができました。今回の実習で学びを提供してくださった多くの皆様への感謝を胸に、次回の実習へこの思いをつなげていきたいと思います。

3年 横川 智子

卒業研究



私は卒業研究を通して、看護への興味を一層深めることができたと共に、大きく成長することができたと感じています。
 多くの論文を集め、テーマを設定し計画を立てる過程で、自分が設定したテーマについて知りたいという強い好奇心が生まれ、その後の研究も楽しく取り組んでいくことができました。調査地に出向き、インタビューやアンケート調査を行う中で感じたことは、入学してから学んできた知識と実習で得た学びが活かしているということでした。また、ゼミを重ねながら考察していく中で、何よりも看護研究の大切さを感じました。1年間の卒業研究を通して、一緒に取り組んだゼミの仲間と温かく導いて下さった先生方に感謝しています。

4年 畠野 智江

大学院



修士課程の修了後、教員として学生とかかわりながら研究を続けていました。しかし、もっとしっかり自分の研究課題に向き合う時間が欲しいと思うようになり、思い切って退職し進学をしました。大学院での生活は、じっくり論文を読んだり、指導教員やさまざまな先生方、博士課程・修士課程の院生とディスカッションしたりする時間が多く、とても充実しています。自分の研究課題に向き合えば向き合うほど悩み考えることも増えてきましたが、一步一步しっかり足元を固め進めていきたいと思っています。

博士後期課程 看護学領域 看護デザイン科学 1年 林 静子

国家試験結果

平成 24 年度看護師・保健師国家試験合格状況（第 10 期生の状況）

区分	卒業生	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
看護師	93 名	83 名	76 名	91.6%	94.1%
保健師	93 名	93 名	93 名	100%	97.5%

卒業生の内定状況

2013 年 3 月 25 日現在の就職内定・進学状況は次のとおりとなっております。

< 県内就職内定・進学先 >

【看護師】金沢大学附属病院、石川県立中央病院、公立松任石川中央病院、金沢医療センター、公立能登総合病院、金沢市立病院、小松市民病院、金沢社会保険病院、金沢赤十字病院、医王病院

【保健師】輪島市、川北町、社会福祉法人あさひ会ファミリー

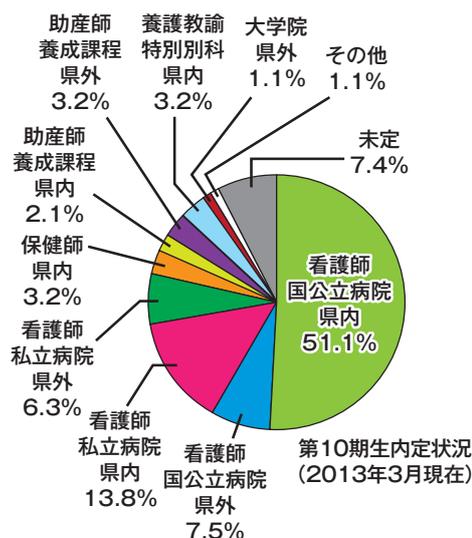
【進 学】金沢大学大学院（助産学分野）、金沢大学養護教諭特別別科

< 県外就職内定・進学先 >

【看護師】富山大学附属病院、名古屋大学医学部附属病院、

黒部市民病院、小牧市民病院、国立国際医療研究センター、虎の門病院、慶應義塾大学病院、淀川キリスト教病院、福井県済生会病院、JA 岐阜厚生連中濃厚生病院

【進 学】岐阜県立看護大学大学院、神戸市看護大学助産学専攻科、浜松医科大学助産学専攻科



平成 25 年度 キャンパススケジュール

前 期		後 期	
入学式	4月 5日(金)	授業開始	10月 1日(火)
ガイダンス	4月 5日(金) ~ 4月 9日(火)	履修登録受付	9月19日(木) ~ 10月 4日(金)
健康診断	4月 9日(火)	大学祭(看大祭)	10月26日(土) ~ 10月27日(日)
授業開始	4月10日(水)	冬季休業	12月24日(火) ~ 1月 5日(日)
履修登録受付	4月 5日(金) ~ 4月16日(火)	補講・試験	2月12日(水) ~ 2月 20日(木)
開学記念日	5月29日(水)	春季休業	2月21日(金) ~
オープンキャンパス	7月20日(土)	卒業式・学位授与式	3月15日(土) 予 定
補講・試験	8月 1日(木) ~ 8月 9日(金)		
夏季休業	8月10日(土) ~ 9月30日(月)		
夏期アメリカ看護研修	8月25日(日) ~ 9月 7日(土)		

石川県公立大学法人

石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科
 ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319
 URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

版權は石川県公立大学法人に帰属します